



IOS-XE と SDWAN の展開

- 概要 (1 ページ)
- 機能制限 (1 ページ)
- 自律モードまたはコントローラモード (1 ページ)
- コントローラモードと自律モードの切り替え (1 ページ)
- PnP 検出プロセス (2 ページ)

概要

Cisco 8500 シリーズセキュアルータの `universalk9` イメージは、ルーティングと SD-WAN の両方をサポートしています。

機能制限

自律モードまたはコントローラモード

Cisco IOS XE と Cisco IOS XE の SD-WAN 機能には、それぞれ自律モードとコントローラ実行モードでアクセスします。自律モードはルータのデフォルトモードで、Cisco IOS XE 機能が含まれています。Cisco IOS XE SD-WAN 機能にアクセスするには、コントローラモードに切り替えます。

詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/sdwan/configuration/sdwan-xe-gs-book/install-upgrade-17-2-later.html#Cisco_Concept.dita_42020dbf-1563-484f-8824-a0b3f468e787を参照してください。

コントローラモードと自律モードの切り替え

デバイスのデフォルトモードは自律モードです。コントローラモードと自律モードを切り替えるには、特権 EXEC モードで `controller-mode` コマンドを使用します。

controller-mode enable コマンドは、デバイスをコントローラモードに切り替えます。

controller-mode disable コマンドは、デバイスを自律モードに切り替えます。

詳細については、『[Cisco SD-WAN Getting Started Guide](#)』を参照してください。

PnP 検出プロセス

既存のプラグアンドプレイ ワークフローを使用してデバイスのモードを決定できます。

PnP ベースの検出プロセスは、コントローラの検出に基づいてデバイスが動作するモードを決定し、必要に応じてモード変更を開始します。この検出は、スマートアカウント/バーチャルアカウントのデバイス UID に関連付けられたコントローラプロファイルに基づいています。モードを変更すると、デバイスが再起動します。再起動が完了すると、デバイスは適切な検出プロセスを実行します。

プラグアンドプレイ (PnP) 導入には、次の検出プロセスシナリオが含まれます。

ブートアップモード	ディスカバリ プロセス	モード変更
自律	プラグアンドプレイ接続の検出またはオンプレミスのプラグアンドプレイサーバーの検出	モード変更なし
コントローラ	プラグアンドプレイ接続の検出またはオンプレミスのプラグアンドプレイサーバーの検出	自律モードへのモード変更

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。